

九重町とは

九重町は大分県の中西部に位置しており、1700M級の九州の名峰連なるくじゅう連山に囲まれています。耕地は350Mから1050Mの間に階段状に散在し気候変動が激しく、東北から九州を内包しているといえます。さらに、地熱資源をはじめ豊富な資源を有し、変化に富んだ自然景観にも恵まれ、四季の移ろいをさまざまと感じる町となっています。

トマト、しいたけ、梨の生産地

こども園	2校
小学校	5校
中学校	1校
スーパー	4店舗
診療所	4個所
歯科	3個所

骨りで賑わいます。②日本一のラマの景色が絶景の九重“夢”一場でウィンタースポーツを。③茎の口共同温泉。⑤長者原に散歩。⑥5月末～6月中旬マキリシマでピンク色に。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

九重の就農、暮らし、お金について

手農九重 てちよくなこのかつ



Aさん



わたし
わたくし
の成功
させた者
例をご紹
介します。

「Start」
相談

九重町で就農したAさん夫婦の農活の流れとお金のこと



まったく農業をしたことがなかった私たち夫婦は、まず農林課へ相談。

そこでファーマーズスクールという農業未経験者でも知識と経験を学べる研修があることを知り、就農への道がスタート！

『Step.1』
農業体験
移住体験

まず私たちは、トマトファーマーズスクールの農業体験を申し込みました。

就農者支援事業(研修支援)

[町独自の事業]…就農予定者の体験研修に対して町が行う研修助成

宿泊費(町内宿泊施設に限る)や交通費を3/4以内で助成。

Aさんは2泊3日で体験研修を行い、宿泊代2泊分とレンタカー代や高速代など併せて10万円かかりましたが、後日7万5千円が返ってきました。

『Step.2』
ファーマーズ
スクール
申込

「私はトマトに決めました!」

農業をしたことがなかったので、まずは技術を身につけようと思いつつトマトファーマーズスクールへ申し込みました。

申し込みから約1ヶ月後に面接を受けました。就農コーチ等たくさんの方から就農意欲や就農後の資金計画など質問がありました。その1ヶ月後、「合格」の結果を受け取りました!

『Step.3』
家探し

面接からすぐには家探しです。空き家バンクや町営住宅など、町から紹介を受け、家を見つけました。

空き家活用定住促進事業

[町独自の事業]…県外から空き家バンクを介した空き家への引越費用に対する補助金として10/10以内で補助(上限20万円)

『Step.4』
ファーマーズ
スクール
入校

4月初旬に関係者も含めて入校式が行われました。私たちは今後の決意表明を述べ、入校記念にトマト栽培に役立つ「トマト栽培マニュアル」を町からもらいました。

『Step.5』
事業
勉強会

入校式後すぐに、基本的な栽培知識を得るために座学として、大分県振興局の普及指導員が行う座学が行われました。また、研修中に受けられる補助金の説明や申請の手続きを行いました。

お金のことちゃんと知っておきましょう

こんにちは。役場の者です。

『Step.6』
模擬営農

1.8aの面積のハウス1棟借りる
売上 / 35万円
経費 / 25万円
収入 / 10万円

模擬営農として1年目から受け入れ農家のハウスを借りてトマト栽培を行いました。

『Step.7』
農地探し

研修中に農地を地域の農業委員さんや農地中間管理機構、トマト部会、農林課のサポートを受け、見つけました。

『Step.8』
ハウス事業
申請

就農までにハウスを設置するため、ハウス設計をしたり、ハウス事業にかかる資金計画を立てたりしました。自己資金では厳しいので、資金を借りるため相談しました。

『Step.9』
卒業式
就農

無事に2年間の研修を終え、卒業を迎えました。ハウスも準備が整い、いよいよ就農です。

『Step.10』
就農後の
経営

新規就農者育成総合対策事業ではサポート巡回を年2回行っているので、町の担当者やサポートメンバーに就農後の悩みや相談などをすることができます。私たちは就農からすぐに部会の表彰を受けるまで成長しました!

ハウス面積 25a
(労働力は夫婦2人・雇用なし)

売上 / 825万円
(生産量25t × 平均単価330円/kg)

経費 / 575万円
(肥料代、農薬代、土地代、販売手数料など)

所得額 / 250万円
+給付金

ファーマーズスクール事業とは!?

独立して農業をするためには農業の知識と経験が必要です。

これまで農業を生業としてやられている優秀な農家のハウスや農地へ直接通い、一緒に栽培から出荷までを行います。実際にハウスを管理し、自分名義で出荷などを行う「模擬営農」も行いますので、実践的な農業が学べます。

また、事業申請やトマト栽培の基礎についての講義など「座学」を関係機関で行います。

農業体験を品目ごとに準備しています。
興味のある品目を体験してみてください。

(品目)

- トマト……… 7月～10月
- 椿草(乾・生)…… 8月～11月
- 梨…………… 7月、9月～10月

(体験期間)

- 短期体験:2日～3日
- じっくり体験:1週間～1ヶ月程度

※どちらかをご都合に合わせて選択してください。
※都合に合わせて日にちを決定できますので、ご相談ください。



就農カレンダー (Aさん夫婦の場合/3年分)



就農と選択

生業としての農業

就農するために必要なスキル

✓運転が上手にできる

運転が上手でないと軽トラックや農業機械を上手に操作できません。動力噴霧器やコンバインなど高価な機械を壊してしまっては高額な出費がかかります。

✓地域と交流ができる

農業は特にその土地に根差した産業です。末永く暮らしていくためには、自治会でのお祭りや環境整備活動など積極的に参加できる方が望ましいです。

✓生活資金や就農資金が準備できる

現在、就農者には様々な補助金が受けられますが、補助金申請から交付までは時間がかかりますので、それまでは自己資金などで生活をしなければなりません。予め資金を準備しておく必要があります。

農業者は「技術者」です。
技を磨かなければ
良い農家にはなれません。

「九重町」と「夏秋トマト」の魅力

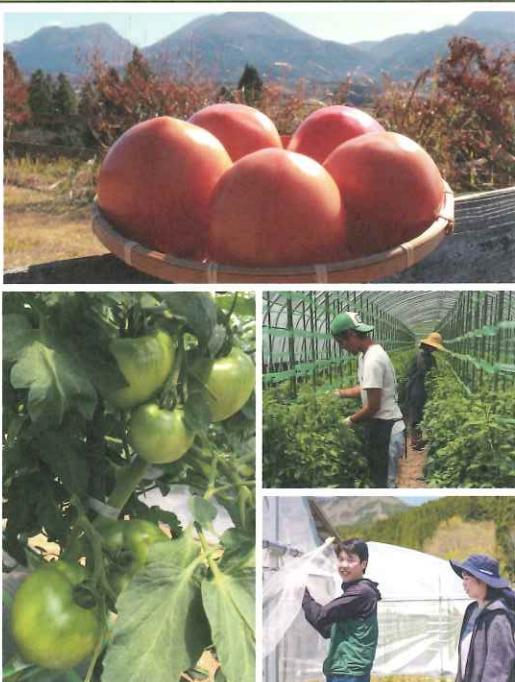


模擬営農を2年間できる

- 九重町内に選果場があり、選別や袋詰めの手間がからない
- トマト栽培が50年以上続き、地域にあった栽培方法が分かる
- 受入農家が10年以上のベテランで安心
- JAや大分県、農業委員会が連携してサポート
- 研修中でも地域の行事に積極的に参加し、多くの農家と面識を持つことができる
- 高速やJRがあり交通の便が良い
- 程よく生活できる環境が整っている
- 夏場生活しやすい

冬場はゆつくり
できる♪
(12月～3月頃)

■大分県では新規就農者が行う野菜部門で
ピーマンに次いで第2位
■初期投資が比較的少ない
(新規就農者の個人負担は120万／ユロ程度)
■2人で3反の面積で経営がほぼ成り立つ
■時期によっては年間最高単価で取引される



一反当たりの
所得が高い
ので生計がたてられる

その他にもこんな事業が利用できます。

『Step.1』で使える!

【移住体験住宅】

九重町の環境を感じていただくため、移住を考えている方を対象に、施設・家電を備えた体験宿泊施設を準備しています。ご利用の方は10日前までにお電話ください。

○3LDK/泊1,000円

○最長1ヶ月

お問合せ先:九重町役場 企画調整課 0973-76-3807



『Step.3』で使える!

【民間賃貸住宅家賃助成事業】

(町独自の事業)

新たに賃貸住宅で暮らし始めた方へ実質家賃額の1/2を補助(最長3年間)

単身世帯:上限1万円 同居世帯:上限1万5千円

『Step.5』で使える!

【中高年移住就農給付金】

内容:県外から大分県へ移住してファーマーズスクールなどで研修する50歳以上55歳未満で独立就農をする方に対して最大100万円を最長2年間交付。

『Step.5』で使える!

【就農者支援事業】

(研修支援/町独自の事業)

要件を満たせば研修期間中に月5万円を補助します(最長2年間)※新規就農者育成総合対策事業が交付とならない方が対象です。

『Step.10』で使える!

【就農者支援事業】

(小規模機械導入支援/町独自の事業)

就農5年以内の認定新規就農者に対して管理機又は小型トラクターなどの購入経費を1/2内で補助(上限10万円)

子育てサポート

九重町では子育てにかかる経済的な負担の軽減を目的としてサービスやサポートのほか、町が一体制となって子育て支援ができる環境づくりを行っています。

【出産育児に活用できるサポート】

おおいた子育てほっとクーポン

育児助成金

子宝手当

子育て関連用品購入助成

【教育をサポート】

放課後児童クラブ

こども園・小中学校エアコン完備

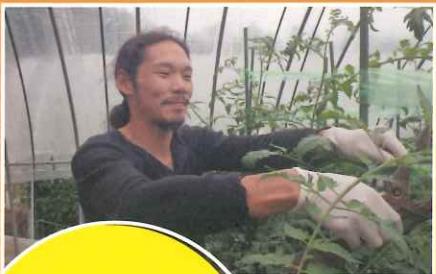
【子育てをサポート】

ファミリーサポートセンター

このえ子育て交流センター

成長記録や予防接種のスケジュール管理、子育て情報の入手など▶

失敗を怖がらずに
進めることが大事!



農業は甘いものじゃないけど、自分の思った通りの栽培ができたときの喜びはとても大きい!

生活リズムが整い、
食べ物を大切にする
ようになった。休み
の日は買物や趣味
に打ち込め、自分たちの時間もきちんと
作れます!



ワークライフ
バランスを
大切にできる

就農者の声

農業しない
ないのが
もつた



農泊体験で「人間らしい暮らし」に感動!
次の日には行動に
移っていました。町
の人は親切で、必ず
生活の助けになって
くれます!

